

第4章 計画の実現に向けて

1. 実現化の基本的考え方

都市計画マスタープランの実現化に当たっては、チーム三木（市民・議会・企業・団体・行政）による協働のまちづくりを推進し、限られた財源の中でより良い効果が得られるように、市民ニーズ・企業ニーズの把握に努めるとともに、計画の優先性、緊急性などの検証を深め、選択と集中により効率的・効果的に計画を進めます。

2. 計画推進のための取り組み

（1）チーム三木による協働のまちづくりの推進

誇りを持って暮らせるまち三木を実現するためには、チーム三木（市民・議会・企業・団体・行政）がそれぞれの役割を認識し、相互連携・相互補完によるまちづくりを行っていくことが重要になります。

（2）効率的・効果的な事業の推進

限られた財源の中で、効率的・効果的にまちづくりを進めるため、市民ニーズ・企業ニーズも確認したうえで、事業の必要性、緊急性などを検証し、優先度の高いものから順に事業を進めます。

（3）社会情勢の変化や新しい制度への対応

社会情勢の変化を注視し、必要に応じた見直しを行うことや、国における各種補助金制度などの適切な活用を行います。

（4）まちづくりの情報共有

市のまちづくりに関する情報を共有するため、市ホームページや広報への掲載、パンフレットなどの配布を行い、まちづくりに関する情報を積極的に発信します。



意見交換会

3.協働のまちづくりの仕組みづくり

三木市都市計画マスタープランの実現に向けて、チーム三木（市民・議会・企業・団体・行政）による協働のまちづくりを以下のような仕組みで推進していきます。

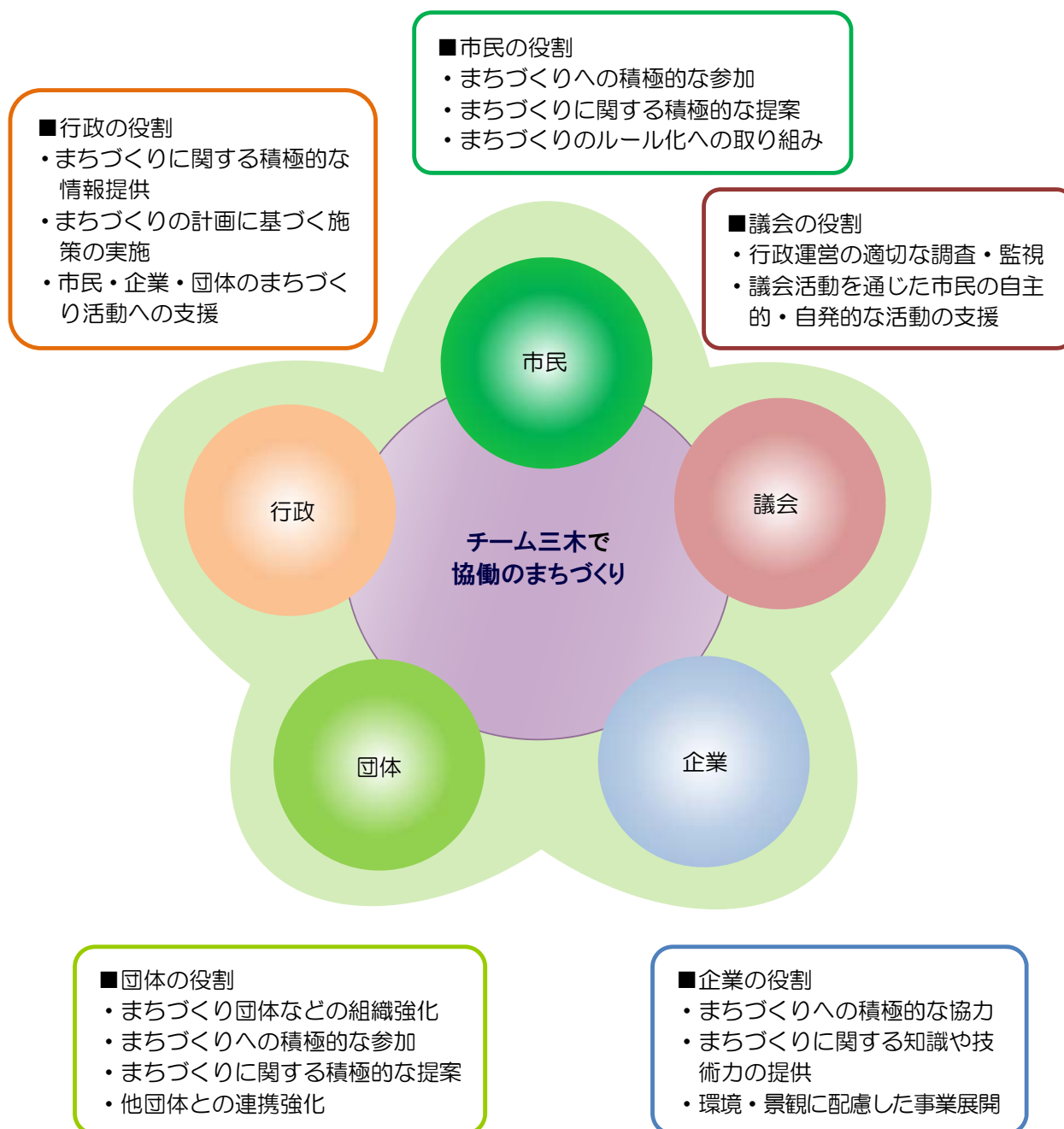


図 協働のまちづくりの仕組み

4.協働のまちづくりの展開

市民協議会などとの対話を進め、積極的に市民ニーズや地域の課題の把握に努め、チーム三木による協働のまちづくりを展開します。

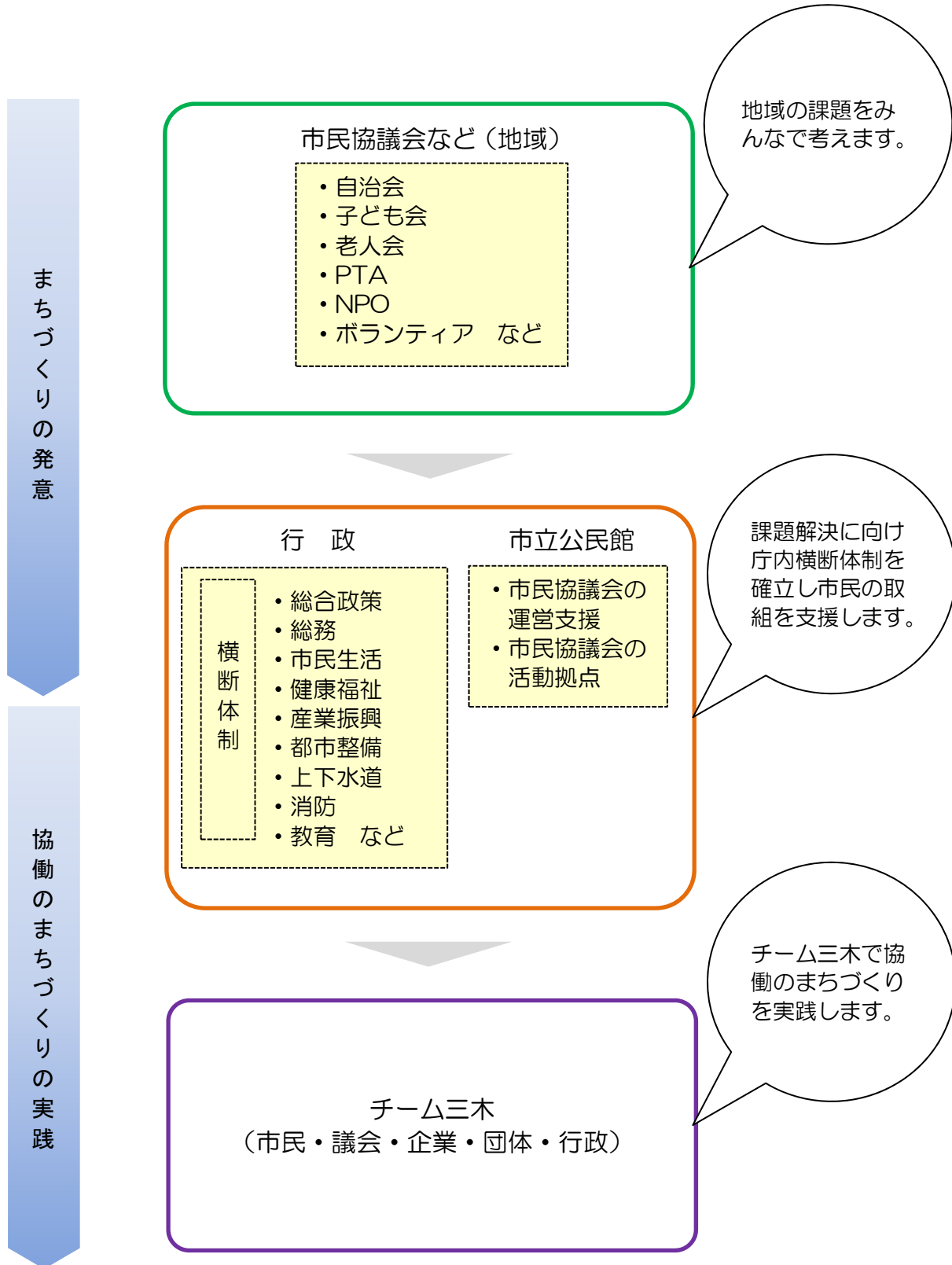


図 協働のまちづくりの展開

5.計画の進行管理と見直し

都市計画マスタープランは、2028年を目標年度とした、長期的な見通しを持って継続的に取り組むものであり、その間には社会情勢の変化や上位計画の見直しなども想定されることから、これらと整合を図るため、必要に応じて見直しを行うとともに、チーム三木（市民・議会・企業・団体・行政）でPDCAサイクルにおける適切な進行管理を行います。

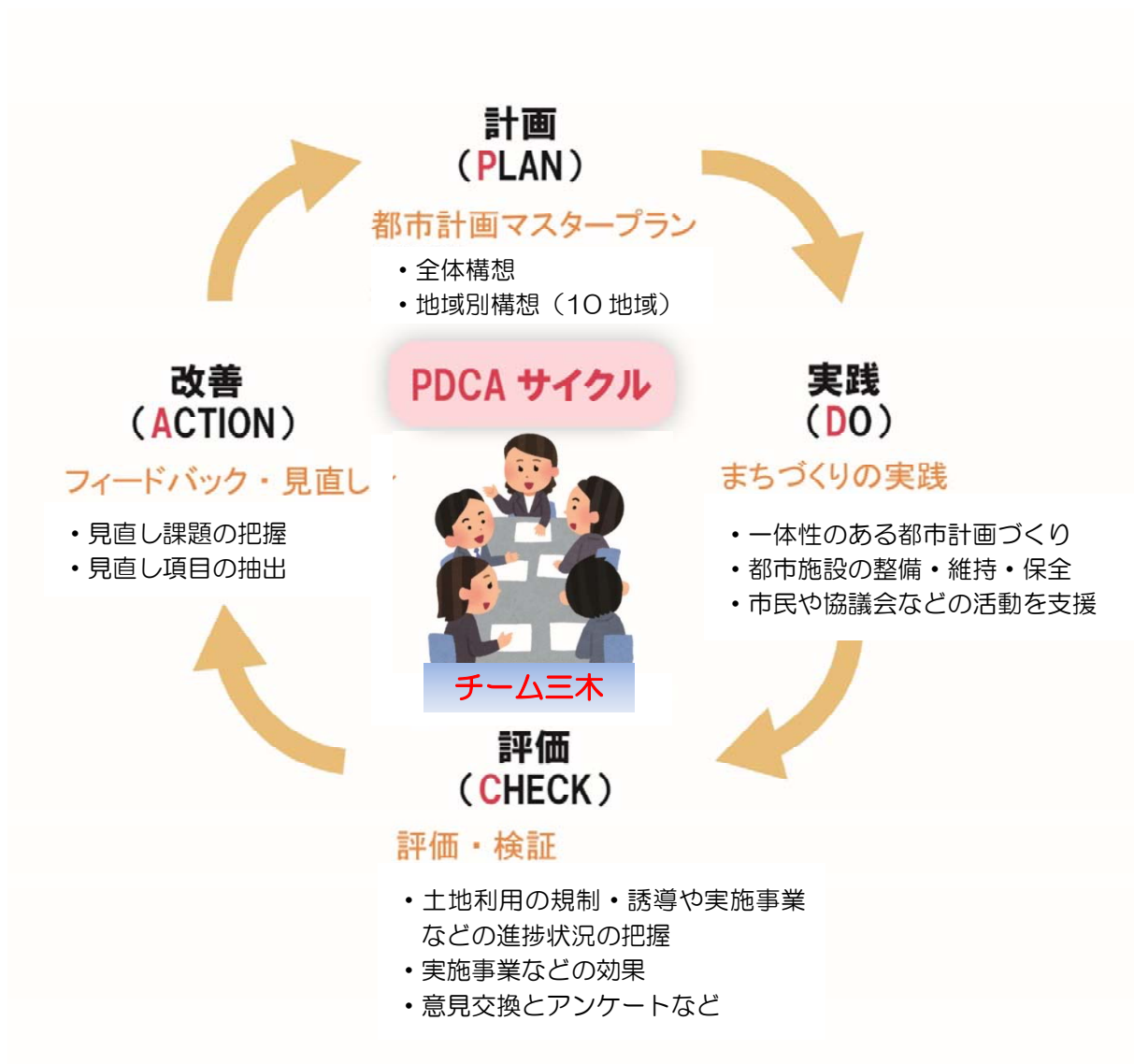


図 PDCA サイクル図